

公益財団法人東京都島しょ振興公社 令和5年度第5回理事会議事録

- 1 開催日時 令和6年2月19日（月曜日）午前9時00分～午前9時30分
- 2 開催方法 東京都港区海岸一丁目4番15号島嶼会館2階会議室及び
テレビ会議システムによるオンライン開催
- 3 出席者 理事総数 6名
出席理事 5名
理事長 渋谷 正昭 理事 村山 将人
理事 前田 弘 理事 山下 奉也
理事 高田 照之
監事総数 3名
出席監事 3名
監事 大沼 弘一 監事 中村 佳一
監事 田代 則史※

※を付した監事については、テレビ会議システム等によりオンライン出席した。

- 4 議長 理事長（代表理事） 渋谷 正昭

5 決議事項

議案第1号 令和6年度事業計画案及び収支予算案について

議案第2号 東京愛らんどシャトル新機体の選定について

6 議事の経過の要領及びその結果

理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、理事6名の過半数が出席しており、定款第36条の規定に基づき、理事会の議案に対する決議は成立する旨を告げた。その後、次の議案の審議に入った。

(1) 議案第1号 令和6年度事業計画案及び収支予算案について

議長は、議案第1号を上程し、配付資料により事務局長から令和6年度事業計画案、収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、次の質疑があった。

（前田理事）八丈町の木炭倉庫にまだ木炭は入っているのか。

（事務局長）木炭自体はもう入っていない。

（山下理事）へり格納庫改修工事はどのような内容か。

（企画管理課長）大型扉の改修と、テント素材の屋根及びその他の雨漏り補修を予定している。

(村山理事) 収支改善について、愛らんどシャトル以外で現時点で組上にあがっていることはあるか。

(事務局長) まずは財産運用益の改善を検討しているところ。その上で、さらなる事業の見直しや町村負担のあり方について今後考えていきたい。

(渋谷理事長) 財産運用益の改善については、リスクを負わないといけない部分もあるので、第7次実施計画に反映させるにあたって事務局ともよく相談しながら、場合によっては東京都や町村へのお願いも念頭に調整していかなければならないと考えている。

(村山理事) 利島でも公社の存続について気になっているという声があるので、島しょ地域の振興における公社の必要性について周知していきたい。

(高田理事) 我々も公社の収益が厳しいということには問題意識を持っており、できる限りの支援はしていくという姿勢ではあるが、次の第7次実施計画策定に当たって、事業のあり方、やり方等を公社と各町村と腹を割って議論していきたいと考えている。

(渋谷理事長) 場合によっては理事会以外の議論の場が必要かもしれない。

審議の結果、原案どおり満場一致で承認された。

(2) 議案第2号 東京愛らんどシャトル新機体の選定について

議長は、議案第2号を上程し、配付資料により企画管理課長から説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、次の質疑があった。

(村山理事) AW139が導入されて、例えば貨物室の話や、ドアのトラブル等の課題があったが、次の新機体導入の際の改善や対応策を検討されていけば伺いたい。

(企画管理課長) 貨物室については、どこまで拡大できるかということを今後事業者と詰めていきたいと考えている。ドアのトラブルについては、整備士が適切に対応しているので、現在は問題ない。

(渋谷理事長) 先日、視察を兼ねて搭乗させてもらったが、機材が大きくなって安定感が増したと感じた。

審議の結果、原案どおり満場一致で承認された。

7 報告事項

(1) 公益財団法人東京都島しょ振興公社第7次中期実施計画（令和7年度～令和9年度）の策定について

事務局長より、標記案件について説明がなされ、これを了承した。

(2) 令和5年度第4回公社運営検討委員会の開催結果について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされ、これを了承した。

(3) 規程の制定と一部改正について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされ、これを了承した。

(4) 理事長の職務執行状況について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされ、これを了承した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は午前9時30分閉会を宣し、解散した。

上記事項の経過の要領及びその結果を明確にするため、代表理事及び出席監事が記名押印する。

令和6年 3月27日

公益財団法人東京都島しょ振興公社

議長 理事長 (代表理事)

荒谷正昭



監 事

大沼弘一



監 事

中村佳一



監 事

田代則史

